薬の伝言板
～関節リウマチ～

No333　2025 年 8 月
丸子中央病院　薬局

関節リウマチってどんな病気？

- 自分の免疫が関節を攻撃して関節の痛み、腫れ、こわばりなどの症状が出る病気です
- 放っておくと、関節の変形や動かしにくさにつながることもあります。
- 30～50 代の女性に多くみられます。

こんな症状ありませんか？

症状	特徴
朝の手の指の動かしにくさ（こわばり）	朝起きたときに指がスムーズに動かず、グー・パーがしづらくなるのが特徴です。
関節の痛み・腫れ	手足の小さな関節に左右対称に出やすく、進行すると他の関節にも広がります。
だるさ・微熱・食欲低下	関節だけでなく、全身の不調がでることもあります。

どんな検査をするの？

血液検査

採血をして、体の中で炎症が起こっているかや、リウマチの目印となる物質（抗体など）があるかを調べます。

- 炎症の強さ（CRP など）
- リウマチに特徴的な抗体（リウマトイド因子、抗 CCP 抗体など）

※血液検査陰性の場合でも画像検査などの評価でリウマチと診断される場合があります

画像検査

関節の腫れ・骨の変形・炎症のようすを、画像で確認します。

検査	わかること
レントゲン	骨や関節の変形があるかどうか
エコー（超音波）	関節の中の腫れや炎症をリアルタイムで観察
MRI	骨や関節の細かい変化まで詳しくわかる

治療について

現在では、効果の高い薬を使って、関節リウマチの進行を防ぐ治療が主流です。関節の痛みや腫れをやわらげるだけでなく、病気の進行をおさえ、関節が壊れるのを防ぐ薬（生物学的製剤など）が登場し、生活の質（QOL）を保つ治療ができるようになってきました。治療は、薬による治療（薬物治療）を中心に、必要に応じて手術やリハビリテーションも組み合わせて行われます。

〈薬物治療に使われる薬の種類〉

分類	主な薬剤	役割
抗リウマチ薬	メトトレキサート サラゾスルファピリジン イグラチモド	・免疫異常、炎症の抑制 ・骨、関節破壊の進行遅延
生物学的製剤	インフリキシマブ トシリズマブ アダリムマブ	・炎症抑制 ・骨、関節破壊の進行抑制 （抗リウマチ薬の効果不十分例）
消炎鎮痛薬	ロキソプロフェン セレコキシブ	・痛みや炎症の軽減
ステロイド	プレドニゾロン ヒドロコルチゾン	・痛みや炎症の抑制
JAK 阻害薬	フィルゴチニブ トファシチニブ ウパダシチニブ	・炎症抑制 ・骨、関節破壊の進行抑制 （抗リウマチ薬の効果不十分例）

日常生活で大切なこと

◆ 体を冷やさない・・・関節が痛みやすくなります。冷房・特に冬場は注意
◆ 軽い運動・・・適度にストレッチや歩行をすることで関節が固まるのを防ぎます
◆ バランスの良い食事・・・特にタンパク質、カルシウム、ビタミンＤなどの摂取が大切

早期に治療を始めることで、進行を防ぐことができます。
関節の痛みや違和感が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

文責　薬局　手塚・実習生　春原